

## 2023年度 第42回 全国中学生人権作文コンテスト

## 『私の兄』

築城中学校 3年生(当時) 田村 夢叶

私が、この人権作文で兄のことを書くと決めたとき、兄に障害のことを書いていいか聞きました。兄は「いいよ、たくさんの人に知ってもらいたいから。」と言っていました。

みなさんは、障害者の方と話したり接したりしたことがありますか。私の兄には、自閉症と知的障害があります。兄は、大きな声や音が苦手な注射や人がたくさんいる場所は、パニックになったりします。また、強い光が苦手なストレスになるのでサングラスをかけているときもあります。そして、物にこだわりがあったり自分の気持ちを上手く伝えることがあまりできないので、泣いたり怒ったりしているときもあります。伝わらない時は、ジェスチャーで一生懸命教えてくれます。母は、「ゆっくりでいいよ。」と落ち着かせて聞いてくれます。でも、怒ったときは物を投げつけたりお母さんを叩いたり暴言を吐いたり物を壊したりします。正直、とても怖く感じます。母は、落ち着くのをそばで待っています。毎日つらい思いをして過ごしているのだと思います。軽度のためか見た目ではあまりわからないので、悲しい言葉など言う人もいたそうです。兄は、それを聞いていやな気持ちがしたと思います。それを聞いた私も悲しい気持ちになりました。

兄は今、働いています。毎日決まった時間に起きていつもの順番で用意をして仕事に行きます。人混みが苦手なのに、たくさんの人たちの中で働いています。気持ちの切り替えはまだ難しいけれど、気持ちが上手く伝わらなくて怒ったりすることは前より少なくなりました。将来のために、料理を少しずつできるようになってきています。前は、火や包丁を見ると怖いと逃げたいけれど今は、火も包丁も使えます。掃除機の音が苦手なパニックになっていたのに、今は掃除機を使って掃除ができるようになりました。今までたくさんの人と関わり、支えてもらい学んだことでいろいろがんばっているのだと思いました。

兄は、可愛いところもあります。好きなお菓子があったら、一生懸命黙って嬉しそうに食べます。なんでもうれしそうに食べています。なんにでも嬉しそうにしているところがいいと思います。好きなことや興味があることならずっとしゃべり続けます。私が止めない限り一日話続けてしまうのではないかと思います。でも、そんな嬉しそうな兄の顔がとても好きです。

ちち はは しょうらい ふあん せつめい にがて ごかい わる  
父と母は、将来についての不安もあるそうです。説明をすることが苦手なので、誤解されたり悪いことをしていないのに悪者にされたり罪をなすりつけられたりしないか、だまされてお金を取られたりしないかなど心配しています。それを聞いて、私も心配になりました。そんなことにならない強さを持ってほしいです。

あに やさ かぞく こと しんぱい にい  
兄は、優しく、家族やおじいちゃん、おばあちゃんの事もよく心配してくれます。きっとお兄ちゃんになろうと毎日がんばっているのだと思います。昔は、兄の事が分からなくて怒ったりもしていました。お母さんに説明されても理解できない時もありました。でも、今は少しだけ分かるようになった気がします。父や母から教えてもらって、色々知って理解することが出来たら、兄や周りの障害を持っている方たちの力になってあげられたらいいなと思います。

わたし あに じゅうよねんかんせつ わ はな みじか わ め み  
私が、兄と十四年間接してきて分かったことは、話すときは短くゆっくりと分かりやすく目を見て話すことや、その状況だったり自分の気持ちを上手く伝えられなかったときは、ゆっくり待って聞いてあげること、予想外のことが起きたりパニックになるので優しく声を掛け落ち着くのを待つてあげるなどがあります。困ったことがあっても自分から助けを求めることができないから、気がついてあげられるようになることが大事だと思いました。障害がある方は、それぞれ異なる特性を持っているためその人に適した接し方ができるといいです。

しょうがい かた じぶん えがお く じぶん しゃかい おも  
障害のある方が、自分のペースで笑顔でいられる暮らしやすい社会になればいいなと思います。